

「お笑い神事」

清水健二

太田隆次さんから「日本人の笑い」の記事を拝読し、世界中の学者が日本人の笑いの研究をしていることを、ご紹介いただいて、コロナの話に繋げるなんて笑ってしまいました。

ところが、私は 10 年以前から「日本人の笑い」に関心がありましたので、太田さんの記事は面白かったです。

さて、東大阪市の生駒山山麓にある枚岡（ひらおか）神社で、毎年冬至に「お笑い神事」が執り行われています。多くの人々が集まって、神官のリードで20分間笑い続ける行事に参加したことがあります。20分は短いようですが、大声を出して笑い続けるのは大変です。海外の人達も参加して楽しんでいます。

今日 12 月 23 日は冬至で、午前中開催されたようです。丁度10年前 2011 年(平成 23 年)12 月 26 日に私が行った時の映像が、youtube で紹介されていました。約 8 分程の中に、不肖私が、1 分 17 秒から 5 秒程左端の黒い帽子でジャンパー姿で映っています。注連縄かけの様子を眺めている場面です。

[平成 23 年 枚岡神社 お笑い神事 - YouTube](#)

(東大阪枚岡神社笑い祭)、注連縄掛神事(通称お笑い神事)の映像をご覧ください。太陽信仰からの由来でしょうか？冬至の日に選ばれたのは太陽の復活と幸せを祈ったようです。

1 年の出来ごとを笑いとはし、新年の開運を祈願する自然崇拝の日本人の昔からの生活習慣でしょうね。

太田さんの話から、偶然、日本の笑いの神事を思い浮かんだので、皆さんにご紹介します。